

ISPR プロジェクト フェーズ 1/ レポート

I. 紹介

NPO 法人 TER は、小原ロータリー・クラブとキガリ・ヴィルンガ・ロータリー・クラブを通じて国際ロータリーの支援を受け、ミヨベ・ニャミヤガ地区の歴史的に疎外されたコミュニティの貧困を緩和するため、「ポーレスト・レジデント・プロジェクトのインデスペンデント・サポート (ISPR)」というプロジェクトを実施しています。村。

II. プロジェクトの説明

ISPRM プロジェクトは、2021 年 10 月 1 日¹、ジクンビ県ミヨベ地区における最貧困住民プロジェクト (ISPR) の独立支援開始式典において、在ルワンダ日本大使と来賓の方々により開始されました。

このプロジェクトは 3 年間続くように設計されており、農業、雨水貯留、生活改善材料 (国内材料) の 3 つの主要な部分に派遣されています。これには、特に受益者が現代農業に関する実践的なスキルを持っている農業におけるより多くの仕事が含まれ、また、彼らは与えられたタスク を完了するたびにいくつかのインセンティブを獲得します。

主に農業、道具流通、大工の家庭用ツールのための第 1 段階では、受益者は 作物生産の改善に関する農業技術を学ぶことができました、プロジェクトは主に教育的でコミュニティに力を与えるので、我々は彼らが傾いて貢献するための大工の実践的なスキルについて 5 人のコミュニティメンバーを紹介しました 自宅の座席、テーブル、食器を作るために、トレーニングは 1 ヶ月間続き、彼らはワークショップに参加し続け、第 2 段階はコミュニティの他の家族のために残っている他の 20 セットのために始まります。

III. フェーズ 1 要求で実施された活動

このプロジェクトは、主にコミュニティによって適用される習得された技術スキル、第 1 フェーズが第 2 フェーズで行われるすべての活動へのデモンストレーション部分とサ

ンプルをカバーする理由、そしてコミュニティが次のフェーズで学び、改善する教育フェーズと呼ばれるこの第1フェーズを通じて貧困を緩和することを目的としています。

1. 農業活動



式典にバーチャルで出席した IMAI 駐日日本大使と駐日ルワンダ大使のルワムシオ氏は、ルワンダの地域社会の生活に影響を与えるこのプロジェクトを支援したロータリアンに感謝し、両国の良好な関係を引き続き強化することを約束しました。

プロジェクトランチ(2021年10月1日)



コミュニティのメンバーは式典に出席し、彼らはプロジェクトが3年間で彼らのために何をしようとしているのか聞いてうれしかった、そして彼らは貧困から抜け出すために彼らを支援する人々を見て非常に感銘を受けました、コミュニティ全体が世帯の第一クラス

(icyiciro 1 cy'ubudehe)にあります。そして、歴史的に疎外されたものとしてよく知られている、コミュニティは立ち上げ以来プロジェクトから利益を得始めており、

以下は Project の実施者としてコミュニティと NPO TER で行われた活動を食べました、私たちはプロジェクトの各ステップが受益者に影響を与えることを保証し、農業を進めるにつれて、鋤などの農産物を地域住民に配布しました。コミュニティメンバーに寄付された鋤



2. プロジェクトのファースト 収量/ 農業シーズン フェーズ 1。

プロジェクトの昼食日、参加者は受益者によって準備された 40 エーカーの表面を植える



ることができ、農業実施の第 1 段階のデモンストレーションエリアとして使用することができ、与えられた表面に植えられた種子は 60kgs であり、表面は 495 Kgs を生産し、さらに通常の季節から播種するという課題と、すべての要件を満たすために満たされるべき内部手順による土地準備の遅れ 時間を使い果たし

ながら。受益者は非常に協力的で、彼らの生産を見る意欲と勇気を持っていました、そして、彼らは作物が季節外れに植えられるかもしれませんが、技術農業技術がうまく適用されている限り、彼らはまだ良い収量を得ることができることを学びました。第 1 段階の受益者の参加率は、コミュニティの男性と女性の両方で 97%でしたが、これは



良いターンアップであり、最初は興味がなかった一部の人が第 2 段階への参加をリクエストしました、これはプロジェクトの影響を示しており、コミュニティのメンバーがその持続可能性までプロジェクトの一員であることを楽しむことを引き続き保証します。

3. 25 家族に家庭用品を寄贈



生活改善活動中;ロータリークラブの資金援助の下、私たちは 25 家族に国産品を購入して配布し、それぞれが 3 つのソースパン、5 プレート、5 フォーク、5 スプーン、2 ポット、2 つの水差し、2 つのジェリーカン、2 つのバッシンと 2 つの大きなスプーンを受け取りました。より良い衛生状態と食品の準備中に地

域社会の生活改善のために彼らを助け、家庭の材料の運によって引き起こされる病気を防ぎます。

この段階では、NPO 法人 TER のスタッフと受益者にとって、このプロジェクトの各ステップでロータリアンと一緒にいることは常に喜びであり、ホームツールの引き渡し式の間、キガリのロータリークラブ、ヴィルンガはルゲゲ教授とアリーネ NPO TER によって代表され、事実上、ロータリークラブほばらの岩淵がいました NPO TER のマリー・ルイズ・トワリ会長、これはコミュニティで行われている活動の背後にある大きなサポートであり、ミヨベの歴史的疎外されたコミュニティは、考慮する必要がある人々の存在を必要とするコミュニティの特別なケースです。



4. 寄贈されたカーペントリーホームツールとサポートされたワークショップトレーニング



このプロジェクトは、5 つの椅子とテーブルを備えた座席室と、衛生と家庭の安全のためにコミュニティメンバーに寄付された食器を保管するのに役立つ食器を含む家庭用大工道具を提供し、この最初のラウンドでは、NPO TER が 5 家族に要請し、これが成功裏に完了し、それぞれの家族に寄付されました。それに加えて、5 人の選択された受益者が家具の製造中にワークショップに出席するように促進され、これは 1 ヶ月の期間で行われ、訓練された受益者は木材製造に関する知識を得るためにワークショップに出席し続けます。彼らが日常生活のために収入を生



み出すのを助けることができる大工のスキル、これらすべてはコミュニティと国の発展に貢献するでしょう。

IV. 技術チームによる予算の見直しとフィールド調査

助成金申請中、研究は助成金申請のために提示された提案書でなすべき活動を示し、プロジェクトの研究中にそこになかった政府によって建設された新しいインフラなど、研究が行われた地面にいくつかの変更がありました、その1つはイキレジ小学校という名前の小学校ですこの小学校と地域社会に水を供給するための水道管。

コミュニティの隣にあるこの学校には、長さ12メートル、直径6メートルの水タンクがあり、技術チームは、プロジェクトの研究中に特定された水問題の答えとして、乾季に利用可能な水タンクが灌漑システムでどのようにサポートできるかについて、学校の権限を持つアプローチを行うことができました。私たちは、農業灌漑に必要なときにいつでも貯蔵された水を使用する権利を与えられています。

第二に、2021年10月4日にNPO法人TER事務局で開催された会議では、技術チームは、第2期要件の変更が必要なラインの予算見直しと、プロジェクト実施現場の現状に応じて必要に応じて資金配分を行う許可を得ました。何度かの訪問と、受益者に有利な技術調査と討論の後、私たちは地域社会で必要とされる優先順位に従って変更を加えることができ、この予算の見直しは、技術チームから提供された理由を理解した後、ロータリアンによって共有され、承認されました。 **技術チームによる現地視察**



プロジェクトのアイデアの概念にはそれほど大きな変化はありませんでしたが、プロジェクトの実施方法だけが変更されており、提出された助成金申請書で行われるべき3つの主な活動、すなわち農業、水槽貯留、生活改善材料が引き続き考慮されます。

温室の数を 3 棟から 1 棟に減らしただけで、農業投入物として 3 年間に実施する 6 シーズンで他の温室 2 棟分の分を注入し、受益者の家の水槽回収にはなかった スタンドが与えられます水収集のより良いシステムのために非常に必要とされている元の計画で計画されました。

V. 観察された 課題

第 1 段階の実施において、我々は次の段階のために考慮されるいくつかの課題に直面しました、以下は課題とその解決策です:

- 季節外れに作物を植え、農業シーズンを逃さないようにするために、私たちは戦略的レベルで多忙だったプロジェクトの実施を少し遅らせて開始し、農学者は綿密なフォローアップを行い、ギクンビの友好的な気候 は作物にそれほど悪くありませんでした。 イキレジ小学校から水を貯め、 必要に応じて灌漑に役立ててもらいました。
- 市場での価格変化: Covid 19 のパンデミックにより、国境閉鎖価格は時々変化しており、購入予定数量に影響を与えている市場の価格に影響を与えているため、最初の要求で提出されたプロフォーマを更新して市場の現在の価格を満たすことを提案しました。
- 調達手順を満たすために、プロフォーマのための予期しない返金不可のコストは、我々は同じ製品のコストを示す最低 3 つの異なる供給文書を提供するように要求され、サプライヤーは、良い調達手順の探求のために、主にプロフォーマの任意の文書を提供する前に預金額を要求し、我々はより低コストでプロフォーマを見つけるために必要に応じて交渉しなければならない。
- 種子の問題は、教育的なプロジェクトとして、私たちはコミュニティによって使用される通常の種子を使用することを決定し、我々は使用された種子がウイルスの多くを含み、標準化されておらず、地元の農家によって準備されていることを認識している、プロジェクトの持続可能性のために我々は、種子が選択される方法と種子 保全のためのより良い方法を農家に教えます。

1. 勧告

Oyou プロジェクトは農業を扱っており、提出されたときに季節を満たすために農業要求の迅速な承認を強くお勧めします。

VI. 予算計画と財務、

第1段階をカバーするために要求されたテの総量は **5,671,900 Frw** に等しく、これは以下の表で次のように使用されています。

い い え	活動	要求された現金 (Rwf)	使用済み 現金 (Rwf)	残高 (Rwf)
1	農業資材	1,349,400	1,224,400	125,000
	人件費	1,655,000	1,180,000	475,000
5	消耗品(家庭用品)	1,297,500	1,297,500 の	0
7	オペレーション(現地スタッフ)	1,370,000	1,250,000	129,150
	合計 (ルワーフ)	5,671,900	4,951,900	729,150

2月に始まった2022年Bシーズンの土地準備には、729,150の残部が使われており、主に行われた活動は、土地準備、畝を播種準備しながら塹壕を掘ることによる土壌侵食制御、土壌に肥料を加える、播種活動、除草活動です。

上記の活動では、みよベコミュニティの人々は、土地を耕すことによって日常的に働いている人たちです。67人の会員で構成された25家族は、農業活動の仕事を与えられた過去の活動で恩恵を受けました。現在準備されている土地は約2.5ヘクタールで、化学肥料200kg、堆肥10トン、石灰2トン(イシュワガラ)を使用して、アイルランドのジャガイモの苗木900kgを植えました。植えられたアイルランドのジャガイモはまだ農場にあり、6月下旬に暫定的に収穫される予定です。



手動堆肥堆肥肥料(2022年2月)



ライム(2022年2月) 2.5ヘクタールにトレンチを整備(2022年2月)

シーズン B は、小規模での最初の試験の後、コミュニティメンバーが土壌浸食を保護する方法について異なる農業訓練スキルを与えられた小規模で大規模に拡張することから始まり、これはコミュニティメンバーによって行われ、彼らはそれをいつ、どのように行うべきかについての説明を受けました。みよべの土壌の種類を特定した後、私たちはこれからの季節の土壌の可能性を防ぎ、増加させるために石灰を使用することに決めました。

進行中の農業シーズン B 2022 に使用された資金を示す予算の表。

S/N	活動	Rwf での使用量
1	農業インプット	553,200
2	オペレーションズ	173,800

3	転送料金	5,00
トータル		727,500
秤		1,650

VII. プロジェクトの進行

2023年12月下旬に終了するこのプロジェクトの期間の予測により、第1段階で実施された実施は大きな影響を示しており、第1段階では、25家族すべてがインセンティブを提供した技術スキルを獲得することによって農業で恩恵を受け、プロジェクトで収穫されたアイルランド人から受け取った。私たちは大工のトレーニングに5人のコミュニティメンバーを受け入れることができました、そしてこれは異なるスキルを持つより多くのメンバーに力を与えることによって次の段階で継続し、彼らの持続可能性のために彼らの習得したスキルを練習することができる機会を作り出します。

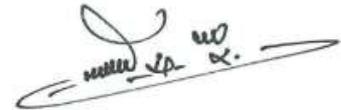
1. フェーズIIで実施する活動一覧

い い え	活動	受益者数	期間
1	農業シーズンB	25 家族	4 ヶ月
2	大工研修	5 メンバー	3 ヶ月
3	ホームツールを寄付する	20 家族	3 ヶ月
4	駒戸 建設	25 家族	2 ヶ月
5	温室建設	25 家族	1 ヶ月
6	水タンク収集の設置	25 家族	2 ヶ月
7	識字率とエンパワーメント	すべてのコミュニティ メンバー	6 ヶ月

キガリで完了 02/05/2022

作成者:

検証者:承認者:



イシムウェ・ヒルワ・フラヴィアン博士 サイディ・ルマンジ・ムバラカ博士 アキンテ
イジェ・シンバ・カリオペ博士

プログラムオフィサー

プロジェクトチームリーダー

カン

トリーディレクター